

令和6年度採用

群馬県公立高等学校教員選考試験問題

日 本 史

| | | | |
|------------------|--|------------|--|
| 受 験 番 号 | | 氏 名 | |
|------------------|--|------------|--|

注 意 事 項

- 1 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 2 問題は、1ページから8ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 4 「終了」の指示があったら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と番号順に重ねた解答用紙を机の上に置いてください。
- 5 退席の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 6 この問題用紙は、持ち帰ってください。

- 1 次の文は「高等学校学習指導要領」(平成30年告示)の地理歴史の「第1款 目標」および日本史探究の「3 内容の取扱い」から一部抜粋したものである。後の(1)～(3)の問いに答えなさい。(資料は一部省略したり、書き改めたりした部分がある。)

第1款 目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に(1)に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 現代世界の地域的特色と日本及び(2)の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を(1)に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される(3)としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3 内容の取扱い

- (1) 内容の全体にわたって、次の事項に配慮するものとする。

キ 文化に関する指導に当たっては、各時代の文化とそれを生み出した時代的背景との関連、(a)外来の文化などとの接触や交流による文化の変容や発展の過程などに着目させ、我が国の伝統と文化の特色とそれを形成した様々な要因を総合的に考察できるよう指導を工夫すること。衣食住や風習・信仰などの生活文化についても、時代の特色や地域社会の様子などに関連付け、民俗学や考古学などの成果の活用を図りながら扱うようにすること。

- (2) 内容の取扱いに当たっては、次の事項に配慮するものとする。

ウ 内容のA、B、C及びDのそれぞれの(2)については、政治や経済、社会、生活や文化、国際環境など、各時代の特色を生徒が読み取ることができる複数の適切な資料を活用し、それぞれの(1)で表現した問いを踏まえ、中学校社会科歴史的分野における学習の成果を活用するなどして、対象となる時代の特色について、生徒が仮説を立てることができるよう指導を工夫すること。その際、様々な歴史資料の特性に着目し、諸資料に基づいて歴史が叙述されていることを踏まえて多面的・多角的に考察できるよう、資料を活用する技能を高める指導を工夫すること。また、デジタル化された資料や、(b)地域の遺構や遺物、歴史的な地形、地割や町並みの特徴などを積極的に活用し、具体的に学習できるよう工夫するとともに、歴史資料や遺構の保存・保全などの努力が図られていることに気付くようにすること。

資料I(例)

| | |
|---------|-----------------------------------|
| 取り上げるもの | 富岡製糸場 |
| 扱う時代 | 明治時代 |
| 扱い方 | 殖産興業の授業で、明治政府による近代産業の育成の具体例として扱う。 |

- (1) 空欄(1)～(3)に当てはまる語を答えよ。
- (2) 下線部(a)について、具体的な例を1つあげて、簡潔に説明せよ。
- (3) 下線部(b)について、あなたが地域にある教育資源を用いる場合、取り上げるもの、扱う時代、扱い方を資料Iの例を参考に書きなさい。ただし、例は資料I以外のものを扱うこと。

- 2 次の資料A～Dについて、後の(1)～(4)の問いに答えなさい。(資料は一部省略したり、書き改めたりした部分がある。)

資料A (天平神護元年三月)丙申、勅すらく、「今聞く、墾田は天平十五年の格に縁るに自今以後、任に私財と為し、(1)を論ずること無く、咸悉くに永年取ること莫れ、と。……
(a)但し寺は先来の定地開墾の次は禁ずる限に在らず。……

「続日本紀」

資料B 勅有りて、参議右衛士督従四位下藤原朝臣緒嗣と参議左大弁正四位下菅野朝臣真道とをして、天下の徳政を相論ぜしむ。時に緒嗣、議して云ふ、「方今、天下の苦しむ所は(b)軍事と造作となり。此の兩事を停めば百姓安んぜむ」と。

「日本後紀」

資料C 尾張国の郡司百姓等解し申し官裁を請ふの事
裁断せられむを請ふ、(c)当国守藤原朝臣元命、三箇年内に責め取る非法の官物、並びに濫行横法卅一箇条の愁状。

「平安遺文」

資料D 鹿子木の事

- 一、当寺の相承は、(2)沙弥寿妙嫡々相伝の次第也。
- 一、寿妙の末流の高方の時、權威を借らむがために、実政卿を以て(3)と号し、年貢四百石を以て割き分ち、高方は庄家領掌進退の預所職となる。……
- 一、実政の末流の願西微力の間、国衙の乱妨を防がず。是の故に願西、(3)得二石を以て、高陽院内親王に寄進す。件の宮薨去の後、御菩提の爲めに、勝功德院を立てられ、かの二百石を寄せらる。その後、美福門院の御計として御室に進付せらる。是れ則ち(4)の始め也。……

「東寺百合文書」

- (1) 資料Aについて、以下の問いに答えよ。
- ① 空欄(1)に当てはまる語を答えよ。
 - ② 下線部(a)の内容について、当時の政権の中心人物を明らかにしながら、生徒に気付かせたい内容を、簡潔に説明せよ。
- (2) 下線部(b)について、軍事と造作とは何のことをさすか、具体的に答えよ。
- (3) 下線部(c)は、徴税請負人としての性格をもつ、任国に赴任した国司の最上席者である。国司の最上席者を何と呼ぶか、答えよ。
- (4) 資料Dについて、以下の問いに答えよ。
- ① 空欄(2)～(4)に当てはまる語を答えよ。
 - ② この資料で説明している荘園を何というか、答えよ。
 - ③ ②のような荘園はどのような目的で形成されたか、資料Dからわかることを簡潔に説明せよ。

- 3 次の資料A～Eについて、後の(1)～(7)の問いに答えなさい。(資料は一部省略したり、書き改めたりした部分がある。)

資料A 順帝の昇明二年、使を遣はして表を上りて曰く、「封国は偏遠にして、藩を外に作す。昔より祖禰躬ら甲冑を擐き、山川を跋涉し、寧処に違あらず。東は毛人を征すること五十五国、西は衆夷を服すること六十六国、渡りて海北を平ぐる事九十五国。……」と。詔して(a)武を使持節都督倭・新羅・任那・加羅・秦韓・慕韓六国諸軍事、安東大將軍、倭王に除す。

『宋書』倭国伝

資料B 建武中元二年、倭の奴国、奉貢朝賀す。使人自ら大夫と称す。倭国の極南界なり。光武、賜ふに(b)印綬を以てす。

安帝の永初元年、倭の国王帥升等、生口百六十人を献じ、請見を願ふ。

桓・靈の間、(c)倭国大いに乱れ、更々相攻伐し、歴年主無し。

『後漢書』東夷伝

資料C (寛仁三年四月十七日)公卿参入し、小除目を行はるるの間、(d)大宰府の飛駟使馬に乗りて左衛門陣に馳け入る。是れ、「刀伊国の賊徒五十余艘起り来り、壱岐嶋を虜め、守藤原理忠を殺害し、並びに人民を虜掠し、筑前国怡土郡に来る、」者。

『日本紀略』

資料D 若し、先ず国土を安んじて、現当を祈らんと欲せば、速かに情慮を廻らし、いそいで対治を加えよ。所以は何ん。葉師経の七難の内、五難忽ちに起り、二難猶残せり。所以、他国侵逼の難、自界叛逆の難なり。大集経の三災の内、二災早く顕われ、一災未だ起らず。所以兵革の災なり。……仁王経の七難の内、六難今盛んにして一難未だ現ぜず。所以、四方の賊来りて国を侵すの難なり。

『(e)立正安国論』

資料E ……大業三年、その王多利思比孤、使を遣はして朝貢す。使者曰く、「聞く、海西の菩薩天子重ねて仏法を興すと。故に遣はして朝拝せしめ、兼ねて沙門数十人、来りて仏法を学ぶ」と。その国書に曰く、「日出ずる処の天子、書を日没する処の天子に致す、恙なきや、云々」と。帝、之を覽て悦ばず、鴻臚卿に謂ひて曰く、「蛮夷の書、無礼なる者有り。復た以て聞する勿れ」と。

明年、上、文林郎裴清を遣はして倭国に使せしむ。

『隋書』倭国伝

- (1) 資料A～Eの内容の出来事について、年代の古い順に並べ替えよ。
- (2) 下線部(a)について、武は「七国諸軍事安東大將軍倭国王」を自称していた。しかし、一国を除く「六国諸軍事安東大將軍倭国王」に任命された。その一国の国名を答えよ。
- (3) 下線部(b)とみられる金印が出土した地名を答えよ。
- (4) 下線部(c)の状況の中で築かれたとされる集落のうち、香川県紫雲出山遺跡のような集落を何と
いうか、答えよ。
- (5) 資料Cについて、以下の問いに答えよ。
 - ① 地方組織の七道のうち、下線部(d)が統括していたのはどこか、答えよ。
 - ② 刀伊の来襲を撃退できた背景について、大宰権帥の人物名を明らかにするとともに、当時の地方の社会の変化に着目し、簡潔に説明せよ。
- (6) 下線部(e)の著者について、人物名を答えよ。
- (7) 資料Eについて、この資料を読んだ生徒から隋の当時の対外政策について質問があった。あなたは教師として、どのように説明するか、簡潔に答えよ。

- 4 次の資料A～Cについて、後の(1)～(9)の問いに答えなさい。(資料は一部省略したり、書き改めたりした部分がある。)

資料A 保元・平治・(a)治承より以来、武家の沙汰として政務を恣にせしかども、(b)元弘三年の今は天下一統に成しこそめづらしけれ。(c)君の御聖断は延喜・天曆のむかしに立帰りと、武家安寧に比屋謳歌し、いつしか諸国に国司・守護をさだめ、卿相雲客、各其位階に登りし躰、実に目出かりし善政なり。……御聖断の趣、五畿七道八番に分られ、卿相を以て頭人として、新決所と号て新たにつくらる。是は先代引付の沙汰のたつ所也。大儀におひては[]におひて裁許あるも、……むかしのごとく武者所をおかる。新田の人々を以て頭人にして諸家の輩を詰番せらる。古の興廃を改めて、「今の例は昔の新儀也。朕が新儀は未来の先例たるべし」とて、新たなる勅裁漸くきこえけり。……爰に京都の聖断を聞奉るに、[]・決断所をよかるといへども、近臣臨時に内奏を経て非義を申し行間、論言朝に変じ暮に改まりしほどに、諸人の浮沈掌を返すが如し。……又、天下一同の法をもて安堵の(d)綸旨を下さるといへども、所帯をめさるゝ輩、恨をふくむ時分、公家に口ずさみあり。(e)尊氏なしといふ詞を好みつかひける。

「梅松論」

資料B (f)東寺御領若狭国太良御庄百姓等謹みて言上す。

……関東御滅亡、今は、当寺御領に罷り成り、百姓等喜悅の思を成すの処、(g)御所務曾て以て御内御領の例に違はず、剩へ新增せしめ巨多の御使を付せられ、当時農業の最中呵責せらるるの間、愁吟にたえざるによつて、子細を勒し言上す。

「東寺百合文書」

資料C (元弘三年)同八月三日ヨリ軍勢恩賞ノ沙汰アルベシトテ、洞院左衛門ノ督実世卿ヲ上卿ニ定メラル。之ニ依ッテ諸国ノ軍勢、軍忠ノ支証ヲ立テ、申状ヲ捧ゲテ恩賞ヲ望ム輩、何千万人ト云フ教ヲ知ラズ。

「太平記」

- (1) 下線部(a)について、源頼朝が挙兵するきっかけとなった、平氏討伐の令旨を発した人物名を答えよ。
- (2) 下線部(b)の年に鎌倉幕府が滅亡するが、この時の得宗は誰か、人物名を答えよ。
- (3) 下線部(c)の内容について、「君」とは誰かを明らかにしつつ、簡潔に説明せよ。
- (4) 空欄[]に当てはまる、建武の新政における中心機関名を答えよ。
- (5) 下線部(d)はどのようなものか、簡潔に説明せよ。
- (6) 下線部(e)はどのような状況を示しているか。当時の政治組織に着目し、簡潔に説明せよ。
- (7) 下線部(f)の寺を嵯峨天皇から与えられた人物は誰か、答えよ。
- (8) 下線部(g)について、農民に課せられた負担を答えよ。
- (9) 「なぜ建武の新政がわずか3年足らずで崩壊したのか」という問いを設定して授業を行った場合、生徒に気付かせたいことは何か、資料A～Cから読み取れることに触れながら、説明せよ。

- 5 次の文は「高等学校学習指導要領」(平成30年告示)の日本史探究の「3 内容の取扱い」から一部抜粋したものである。これに基づき、「2 内容」の「C 近世の日本と世界」と「D 近現代の地域・日本と世界」の学習で活用できる資料を探したところ、資料A～Cを見つけた。後の(1)・(2)の問いに答えなさい。(資料は一部省略したり、書き改めたりした部分がある。)

3 内容の取扱い

(2) 内容の取扱いに当たっては、次の事項に配慮するものとする。

キ 内容のCについては、次のとおり取り扱うものとする。

(1)、(2)及び(3)については、幕府や藩の法令、(a)地域に残る村方(地方)^{じかた}・町方文書、浮世絵などの絵画や出版物などの資料や、それらを基に作成された資料などから適切なものを取り上げること。

ク 内容のDについては、次のとおり取り扱うものとする。

(1)、(2)及び(3)については、(b)日記、書簡、自伝、公文書、新聞、統計、写真、地図、映像や音声、生活用品の変遷などの資料や、それらを基に作成された資料などから適切なものを取り上げること。

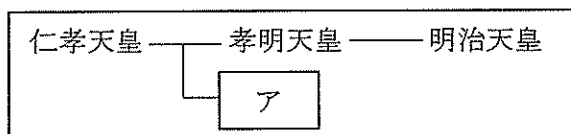
資料A 関所手形

(「中島徳造家文書」群馬県立文書館蔵)

資料B

(「飯塚馨家文書」(群馬県立文書館蔵))

資料C アの人物の関係図



- (1) 下線部(a)について、以下の問いに答えよ。
- ① 資料Aに書かれている村役人の役職を全て答えよ。
 - ② 資料Aから、誰がどのような理由で関所を通過したいと願い出ているのか、手形を発行したのは誰なのかにもふれながら、簡潔に説明せよ。
 - ③ 日本史探究の学習において、資料Aのような村方(地方)文書を授業で取り扱うことについて、どのような効果や意味があると考えられるか、簡潔に説明せよ。
- (2) 下線部(b)について、資料Bと資料Cから、当時の幕政の中心人物であった安藤信正が進めた政策について、空欄アに入る人物を明らかにしつつ、簡潔に説明せよ。

6 次の資料A～Eについて、後の(1)～(5)の問いに答えなさい。(資料は一部省略したり、書き改めたりした部分がある。)

資料A 一 唐人方商売の法、凡一年の船数、口船、奥船合せて三拾艘、すべて銀高六千貫目に限り、其内銅三百万斤を相渡すべき事。……
一 阿蘭陀人商売の法、凡一年の船数貳艘、凡て銀高三千貫目限り、其内銅百五拾万斤を渡すべき事。……

「徳川禁令考」

資料B 日本の力を増には蝦夷地の金山をひらき、並其出産物を多くするにしくはなし。……然に先に云所の「ヲロシヤ」と交易の事おこらば、この力を以て開発有度事なり。

「(1)」

資料C 天下ノ権力総テ之ヲ(2)ニ帰ス、則政令ニ途ニ出ルノ患ナカラシム、(2)ノ権力ヲ分ツテ、立法行法司法ノ三権トス。則偏重ノ患無カラシムルナリ

「明治政史」

資料D 戦後日尚浅ク庶政益々更張ヲ要ス。宜ク上下心ヲ一ニシ、忠実業ニ服シ、勤儉産ヲ治メ、惟レ信惟レ義、醇厚俗ヲ成シ、華ヲ去リ実ニ就キ荒怠相誡メ、自彊息マサルヘシ。

「官報」

資料E 戦争抛棄に関する本案の規定は、……第九条第二項に於て一切の軍備と国の(3)を認めない結果、自衛権の発動としての戦争も、又(3)も抛棄したものであります。

「逐条日本国憲法審議録」

- (1) 資料Aは1715年に出された法令である。これについて、以下の問いに答えよ。
 - ① この法令が出された頃の文治政治を何というか、答えよ。
 - ② この法令が出された理由について説明せよ。
- (2) 資料Bは仙台藩医が田沼意次に提出した意見書である。これについて、以下の問いに答えよ。
 - ① この意見書を何というか、空欄(1)に当てはまる語を答えよ。
 - ② この意見書を受けて、田沼意次が蝦夷地開発のため、その調査に派遣した人物名を答えよ。
- (3) 資料Cは1868年に出された政治の基本的組織を規定した法である。この法について、以下の問いに答えよ。
 - ① この法を何というか、答えよ。
 - ② 空欄(2)に当てはまる語を答えよ。
- (4) 資料Dは、1908年に出された詔書である。これについて、以下の問いに答えよ。
 - ① この詔書が出された時の内閣総理大臣を答えよ。
 - ② この詔書が出された思想的背景について、あなたなら授業で生徒にどのように説明するか、簡潔に答えよ。
- (5) 資料Eは新憲法審議の際の議会における吉田茂首相の答弁である。空欄(3)に当てはまる語を答えよ。

- 7 次の文および資料について、後の(1)～(5)の問いに答えなさい。(資料は一部省略したり、書き改めたりした部分がある。)

土屋文明は(a)1890年、群馬県西群馬郡上郊村(現在の高崎市)保渡田の農家に生まれた。高崎中学校在学中から文学を志し、蛇床子の筆名で俳句や短歌を雑誌『アカネ』、『ホトトギス』に投稿する。卒業後、伊藤左千夫を頼って上京し、短歌結社「(ア)」に参加する。その後、第一高等学校を経て東京帝国大学に進む。学友には、山本有三、芥川龍之介、久米正雄らがあり、彼らとともに第三次『(イ)』の同人として小説、戯曲を書いた。

(b)1917年、『(ア)』の選者となる。1918年、島木赤彦の紹介により諏訪高等女学校教頭として赴任。諏訪高等女学校、松本高等女学校の校長を歴任する。帰京後、(c)1925年に第一歌集『ふゆくさ』を出版。1930年、斎藤茂吉から編集発行人を引き継ぎ「(ア)」の指導者的存在となる。また、『万葉集』の研究にも打ち込み、『万葉集私注』等を執筆した。

(d)1953年に日本芸術院会員、1963年に宮中歌会始召人となり、(e)1986年には文化勲章を受章。1990年、肺炎及び心不全により100歳で死去した。

(群馬県立土屋文明記念文学館HPより引用)

資料1

合衆国政府ハ日本国カ支那ニ於テ ノ利益ヲ有スルコトヲ承認ス。……尤モ支那ノ領土主権ハ完全ニ存在スルモノニシテ、……日本国及合衆国両政府ハ毫モ支那ノ独立又ハ領土保全ヲ侵害スルノ目的ヲ有スルモノニ非サルコトヲ声明ス。且右兩國政府ハ常ニ支那ニ於テ所謂門戸開放又ハ商工業ニ対スル ノ主義ヲ支持スルコトヲ声明ス。

「日本外交年表並主要文書」

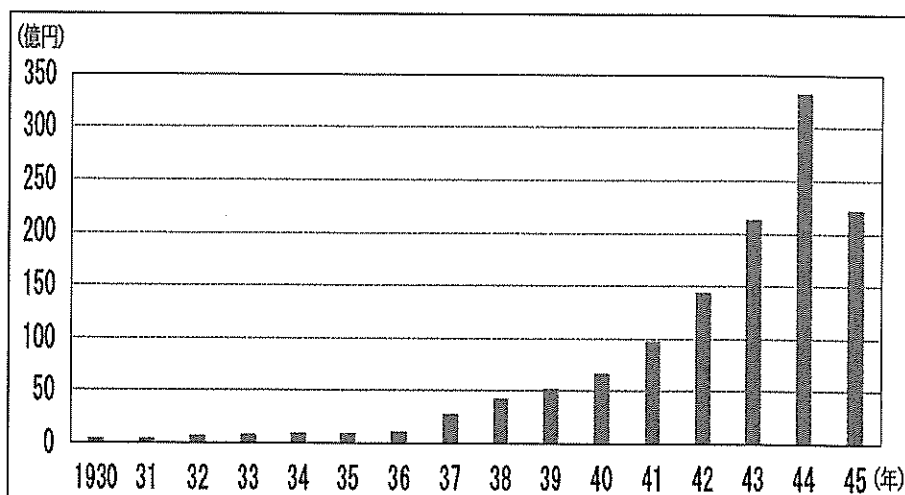
資料2 会議に参加した日・米・英・仏・伊の蔵相

- (1) 下線部(a)の年に第1回帝国議会(第一議会)が開催された。この議会の勢力構成について、簡潔に説明せよ。
- (2) 空欄(ア)と(イ)に当てはまる語を答えよ。
- (3) 資料1は下線部(b)の年に締結された協定である。空欄 と に当てはまる語を答えよ。
- (4) 下線部(c)と下線部(d)について、これらの年に日本で開始された放送メディアにかかわるできごとを、それぞれ答えよ。
- (5) 下線部(e)の年から翌年にかけて日本では円高不況が深刻化した。なぜ円高不況が深刻化したのか、資料2に示された人物たちが参加した会議での合意内容にふれながら、簡潔に説明せよ。

8 次の資料A～Dについて、後の(1)～(4)の問いに答えなさい。(資料は一部省略した部分がある。)

資料A

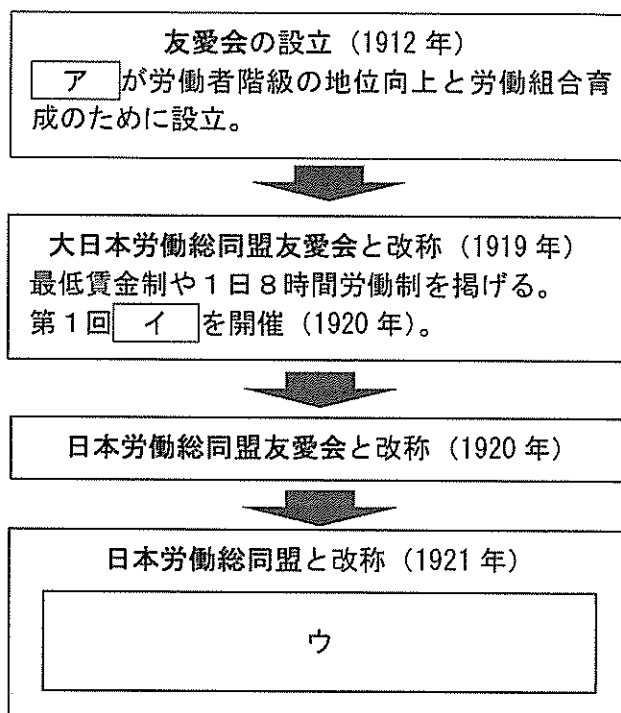
資料B 日本における軍事費予算の推移



(「近現代日本経済史要覧」より作成)

資料C

資料D



- (1) 資料Aに見られる組織の創設など、江戸における都市政策を推進した町奉行の人物名を答えよ。
- (2) 資料Bについて、軍事費が増大していった理由と軍事費増大による財政・経済への影響について簡潔に説明せよ。
- (3) 資料Cの作品の作者名を答えよ。
- (4) 労働運動の展開について、授業で資料Dを用いて説明したい。以下の問いに答えよ。
 - ① 空欄に当てはまる人物名を答えよ。
 - ② 空欄に当てはまる語を答えよ。
 - ③ 空欄において、運動方針の転換について説明したい。あなたならどのような説明文を入れるか、簡潔に答えよ。

| | | | | |
|----------|-------|------|----|--|
| 日本史 解答用紙 | 2枚中の1 | 受験番号 | 氏名 | |
|----------|-------|------|----|--|

(6年)

1

| | | | | | | |
|-----|---|--|---|--|---|--|
| (1) | 1 | | 2 | | 3 | |
|-----|---|--|---|--|---|--|

| | | | | | | |
|-----|--|--|--|--|--|--|
| (2) | | | | | | |
|-----|--|--|--|--|--|--|

| | | | | | | |
|-----|--|--|--|--|--|--|
| (3) | | | | | | |
|-----|--|--|--|--|--|--|

2

| | | | | | | |
|-----|---|--|---|--|--|--|
| (1) | ① | | ② | | | |
|-----|---|--|---|--|--|--|

| | | | | | | |
|-----|--|--|--|--|-----|--|
| (2) | | | | | (3) | |
|-----|--|--|--|--|-----|--|

| | | | | | | | |
|-----|---|---|--|---|--|---|--|
| (4) | ① | 2 | | 3 | | 4 | |
|-----|---|---|--|---|--|---|--|

| | | | | | | |
|--|---|--|--|---|--|--|
| | ② | | | ③ | | |
|--|---|--|--|---|--|--|

3

| | | | | | | |
|-----|---------|--|--|--|-----|--|
| (1) | → → → → | | | | (2) | |
|-----|---------|--|--|--|-----|--|

| | | | |
|-----|--|-----|--|
| (3) | | (4) | |
|-----|--|-----|--|

| | | | | | | |
|-----|---|--|--|--|--|--|
| (5) | ① | | | | | |
|-----|---|--|--|--|--|--|

| | | | | | | |
|--|---|--|--|--|--|--|
| | ② | | | | | |
|--|---|--|--|--|--|--|

| | | |
|-----|--|--|
| (6) | | |
|-----|--|--|

| | | | | | | |
|-----|--|--|--|--|--|--|
| (7) | | | | | | |
|-----|--|--|--|--|--|--|

4

| | | | | | | |
|-----|--|-----|--|-----|--|--|
| (1) | | (2) | | (3) | | |
|-----|--|-----|--|-----|--|--|

| | | | | | | |
|-----|--|--|-----|--|--|--|
| (4) | | | (5) | | | |
|-----|--|--|-----|--|--|--|

| | | | | | | |
|-----|--|--|--|--|-----|--|
| (6) | | | | | (7) | |
|-----|--|--|--|--|-----|--|

| | | |
|-----|--|--|
| (8) | | |
|-----|--|--|

| | | | | | | |
|-----|--|--|--|--|--|--|
| (9) | | | | | | |
|-----|--|--|--|--|--|--|

| | | | | | |
|----------|-------|------|--|----|--|
| 日本史 解答用紙 | 2枚中の2 | 受験番号 | | 氏名 | |
|----------|-------|------|--|----|--|

(6年)

5

| | | |
|-----|---|--|
| (1) | ① | |
| | ② | |
| | ③ | |
| (2) | | |

6

| | | | | |
|-----|---|--|---|--|
| (1) | ① | | | |
| | ② | | | |
| (2) | ① | | ② | |
| (3) | ① | | ② | |
| (4) | ① | | | |
| | ② | | | |
| (5) | | | | |

7

| | | | | |
|-----|-----|--|-----|--|
| (1) | | | | |
| (2) | ア | | イ | |
| (3) | ウ | | エ | |
| (4) | (c) | | (d) | |
| (5) | | | | |

8

| | | | | |
|-----|---|--|---|--|
| (1) | | | | |
| (2) | | | | |
| (3) | | | | |
| (4) | ① | | ② | |
| | ③ | | | |

以下はあくまでも解答の一例です。

| | | | | | | |
|----------|-------|------|--|----|--|------|
| 日本史 解答用紙 | 2枚中の1 | 受験番号 | | 氏名 | | (6年) |
|----------|-------|------|--|----|--|------|

1

| | | | | | | |
|-----|---|----------|---|---------|---|-----------|
| (1) | 1 | 主体的 (2点) | 2 | 世界 (2点) | 3 | 日本国民 (2点) |
| (2) | 【解答例】朝鮮半島からの稲作の伝播により、縄文文化から弥生文化へ発展した。仏教が伝来したことにより、飛鳥文化がおこった。ヨーロッパ文化との接触により、南蛮文化がおこった。明治維新の際に、欧米の文化の流入により、文明開化がおこった。(6点) | | | | | |
| (3) | 【解答例】黒井峯遺跡を取り上げ、古墳時代の人々のくらしを考察させる具体例として扱う。坂本宿を取り上げ、江戸時代の交通の授業で、独特の町割りなどを通して宿場の具体例として扱う。(8点) | | | | | |

2

| | | | | | | | |
|-----|-------------------|-------------|-----------|----------------------------------|------------------------------------|---------|---------|
| (1) | ① | 三世一身 (2点) | ② | 【解答例】道鏡政権において、寺院が開墾を認められたこと (6点) | | | |
| (2) | 蝦夷の征討と平安京の造営 (4点) | | | | (3) | 受領 (2点) | |
| (4) | ① | 2 | 開発領主 (2点) | 3 | 領家 (2点) | 4 | 本家 (2点) |
| | ② | 寄進地系荘園 (2点) | | ③ | 【解答例】国衙からの干渉を免れるために、所領を寄進したこと (4点) | | |

3

| | | | | | | |
|-----|----------------------------------|--|----------------|--|-----|---------|
| (1) | 資料B → 資料A → 資料E → 資料C → 資料D (4点) | | | | (2) | 百濟 (2点) |
| (3) | 志賀島 (2点) | | (4) 高地性集落 (2点) | | | |
| (5) | ① | 西海道 (2点) | | | | |
| | ② | 【解答例】地方では武士団がつけられつつあったため、藤原隆家が、九州の武士たちを指揮して撃退することができた。(6点) | | | | |
| (6) | 日蓮 (2点) | | | | | |
| (7) | 【解答例】隋は高句麗を征服しようとしていた。(6点) | | | | | |

4

| | | | | | | |
|-----|---|-----|------------------|-----|----------------------------|---------|
| (1) | 以仁王 (2点) | (2) | 北条高時 (2点) | (3) | 【解答例】後醍醐天皇が天皇親政をめざすこと (4点) | |
| (4) | 記録所 (2点) | (5) | 天皇の意思を伝える文書 (3点) | | | |
| (6) | 【解答例】足利尊氏が建武の新政の要職についていないこと (4点) | | | | (7) | 空海 (2点) |
| (8) | 年貢・公事・夫役 (3点) | | | | | |
| (9) | 武士への恩賞が不公平なことや、土地所有権の確認は論旨が必要といった武士社会の慣習の無視、農民に対して新たな負担が課せられたことへの反発について気付かせる。(6点) | | | | | |

| | | | | | | |
|----------|-------|------|--|----|--|------|
| 日本史 解答用紙 | 2枚中の2 | 受験番号 | | 氏名 | | (6年) |
|----------|-------|------|--|----|--|------|

| | | |
|-----|---|--|
| 5 | ① | 組頭 (2点)、名主 (2点) |
| | (1) ② | 【解答例】半四郎の妻が親の与右衛門の病気のため、通過を願い出ており、五料村の村役人が手形を発行した。(4点) |
| | ③ | 【解答例】歴史資料が果たす役割に気付くようにして、歴史への関心が高まる。多様な歴史資料にアクセスすることで、具体性をもった学習が可能となる。諸資料を整理・保存し、利用に供することの意義や意味について考えられる。文化財保護の重要性に気付くことができる。など。(6点) |
| (2) | 【解答例】幕府と朝廷の融和を図る公武合体の政策を進め、將軍徳川家茂の妻に孝明天皇の妹の和宮をむかえた。(8点) | |

| | | | | |
|-----|----------|---|---|-----------|
| 6 | (1) ① | 正徳の治 (2点) | | |
| | ② | 【解答例】長崎貿易の増加にともなう多くの金銀が海外に流出したため、貿易を制限する必要があったから。(6点) | | |
| (2) | ① | 赤蝦夷風説考 (2点) | ② | 最上徳内 (2点) |
| (3) | ① | 政体書 (2点) | ② | 太政官 (2点) |
| (4) | ① | 桂太郎 (2点) | | |
| | ② | 【解答例】日露戦争後、国民のなかに国家的利害よりも実利や個人主義の傾向が生じていた。(5点) | | |
| (5) | 交戦権 (2点) | | | |

| | | | | | |
|---|-----|--|-----------------------|-----|-----------------------|
| 7 | (1) | 【解答例】立憲自由党や立憲改進黨などの民党が衆議院の過半数を上回った。(6点) | | | |
| | (2) | ア | アララギ (2点) | イ | 新思潮 (2点) |
| | (3) | ウ | 特殊 (2点) | エ | 機会均等 (2点) |
| | (4) | (c) | 【解答例】ラジオ放送が開始された。(4点) | (d) | 【解答例】テレビ放送が開始された。(4点) |
| | (5) | 【解答例】1985年にドル高を是正するための合意がなされると、円高が一気に加速し、その結果輸出産業を中心に不況が深刻化したため。(9点) | | | |

| | | | | | | |
|---|-----|---|-----|---|--------------------------------|---|
| 8 | (1) | 大岡忠相 (2点) | | | | |
| | (2) | 【解答例】1937年の日中戦争開始以降、戦線の拡大にともなう軍事費は年々急増していったが、膨大な財政支出を増税だけではまかなえず、多額の赤字公債を発行したため、紙幣増発によるインフレーションが進行した。(8点) | | | | |
| | (3) | 狩野芳崖 (2点) | (4) | ① | 鈴木文治 (2点) | ② |
| | | | | ③ | 【解答例】労資協調主義から階級闘争主義へと転換した。(6点) | |